

本願寺長野別院からの手紙

〈夏号〉

(長野別院・定専寺・善立寺)

〒380-0845 長野市西後町 1653

Tel 026-232-2621 / Fax026-235-0210

http://www4.hp-ez.com/hp/naganobetsuin

「偲ぶ」ということ

辞 書をひらいてみますと、①過ぎ去った物事や遠く離れて

いる人・所などを懐かしい気持ちで思い出す。懐しむ。②心引かれて、思いをめぐらす。慕わしく思う。③物の美しさに感心し味わう。賞美する。と「偲ぶ」ことの意味が記されています。

私 たちの人生においては、どうしても何度かは、大切な

方との別れを経験することがあり、亡き方を偲ぶことが縁に触れ、折に触れてあります。亡き方を偲ぶことは、今を生きる私にどのような影響を与えるのかを考えてみました。

去 る4月の中旬、とにかく大変お世話になり、本当に私

が今の私であるための「お育て」をいただいたような方が亡くなりました。そのことを知ってしばらくの間、何も手につかない状態になり、ただただ悲しく寂しい気持ちになりました。少し時間が経って

落ち着いた頃、以前目にした掲示板の言葉が思い出され、その言葉を書いて別院東側の通路にある掲示板に貼り出しました。



私 にとって本当に大切に、尊い人であったが故に、亡くなら

れた知らせでこれ以上ないほどの悲しみを味わいました。だからといって、四六時中つねに頭の中にその人のことがあったわけではありません。亡くなった知らせを聞いてのことでした。

そ して、悲しく寂しい気持ちになつたのと同時に、実は

こんなにも大切に尊いとする人がまわりにいてくれたんだと、有り難くうれしく思ったことでした。

お経『仏説阿弥陀経』のなかに

「俱会一処」という言葉があります。阿弥陀仏のお浄土で再び会う

ことのできる世界があることが説かれていくのです。

つまり、私たちが赤ちゃんで生まれてきたとき、そこに

親が待っていてくれたように、お浄土では待っていてくれる大切な方がいるということが味わわれるのです。そして、いずれ私もいのち終わっていかねばならない存在ですが、そのことを考えると不安しか抱けません。待っていてくれる誰かがお浄土にはいる、そのようにいただくと、仏壇にあった写真を見て止まらなかつた涙も落ち着いたことでした。

「偲ぶ」ということ、それは今を生きる私が、これから生きる上での「安心」を与えてくれるものといいただきました。

コロナ禍が落ち着いたら、今度はお墓まいりに行きたいと考えています。

本願寺長野別院

輪番 齋藤 英明

長野別院役員について

本年4月5日任期満了に伴い、次の方々に責任役員・総代にご就任いただきましたのでご報告申し上げます。

【責任役員】

常盤井智海さん(再任)

高森 准さん(新任)

【総代】

高森 准さん(再任)

上平 忠さん(再任)

松木茂盛さん(新任)

なお、これまで長年ご苦労いただいた驚澤正一さんには、顧問にご就任いただきました。

コロナよりも怖いのは

人間だった

昨年のお寺の掲示板大賞です。マスク騒動やコロナ差別など、人間の醜さが表現されたものです。

そして今、ワクチンが順次接種されています。ある掲示板に、笑って聞いたあの言葉

亡き人からの励ましと聞こえて不安な私が安心となった

「だいじょうぶだあ」と



本願寺長野別院からのお知らせ 2021 夏



http://www4.hp-ez.com/hp/naganobetsuin

御命日法要・常例法座

7月16日(金)・17日(土)

講師 青木 哲隆 師

(富山県射水市 覚円寺住職)

9月16日(木)・17日(金)

講師 西原 竜哉 師

(千葉県松戸市 天真寺)

10月16日(土)・17日(日)

講師 柏倉 学法 師

(千葉県我孫子市 真宗寺)

※いずれも午後1時30分から

新盆法要

8月10日(火) 午前10時より

秋季彼岸会

9月23日(木) 午後1時30分

墓地・納骨堂をご使用の皆さま、有縁の方々にご案内いたします。
※本年より、期間を変更して勤修いたします。

報恩講法要

10月29日(金)～11月1日(月)

講師 井上 慶永 師

(新潟市妙光寺住職)

聖徳仏婦例会

▲「例会」開催日変更▼

毎月17日になりました。

毎月17日といえば、常例法座。

新型コロナウイルスには早く終息してもらい、常例法座にお参りしたあと、茶話会が持てたらいと思ひます。

▶浄土真宗のみ教えが今日に至っているという事は、これまでのその時代を生きた人々にとつて、まさに生きる支えとなるみ教えだったからなのです。

ご一緒にお聴聞を通して、現代を心豊かに生き抜くヒントをお聞かせいただきましょう。また、会員も募集しています。

常例法座は、

現代を心豊かに生きる情報満載！

別院仏壯例会

7月7日(水) 18時から

9月1日(水) 18時から

10月6日(水) 18時から

テーマ『ひらがな正信偈』

講師 嶋倉崇雄さん(圓長寺住職)

※新たな会員もウェルカムです。

長野別院人生講座

8月3日(火) 午後1時30分より

『ドキュメンタリー 沖繩戦』

〜知られざる悲しみの記憶〜

(製作 浄土真宗本願寺派)上映と

太田隆文監督 講演会を開催します

※どなたでもご参加ください。

非戦の鐘

8月15日(日) 午前11時から

毎年恒例、非戦・反戦を願って梵鐘をつきます。お盆のお墓参りの合間にご参加ください。

お晨朝(朝のおとめ)

※毎朝7時30分から

お念珠をご持参ください。ただそれだけ！

第41回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

毎年9月18日は、国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑(東京都)において「全戦没者追悼法要」が勤修されます。今年も新型コロナウイルスの影響で、オンライン中継され、別院講堂での参拝となります(午後1時頃より)。追って掲示板等でご案内いたします。

護持費、墓地管理費の

お願いに伴って

毎年、この時期にお願いいたします「護持費」「墓地管理費」につきまして、大変厳しい社会情勢のなか、また、墓地管理費につきましては本年度よりさらなるご負担を強いることになりましたが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、このお願いに伴いまして、代表者や現住所など連絡先等の変更があり、それが反映されてない場合には、誠に恐れ入りますが、ご一報いただきますようお願い申し上げます。

墓地に関して

現在、墓地管理費が滞り、使用者の方と連絡がとれなかったりして不明となつてお墓に貼り紙をさせてもらい、確認をとらせていただいております。ご覧になられて、心当たりがありましたら、ご協力お願いいたします。

また、墓地の状況を整理したところ、空きがいくつかありますので、ご希望の方はお求めください。

長野別院からの手紙 御同朋の社会をめざす運動(実践運動)

実践目標① 貧困の克服に向けて—Dāna for World Peace— 子どもたちを育むために
 実践目標② 濁世に生きる一立教開宗の願いを聞く—

長野別院は、開かれたお寺をめざしています。
 お寺の活動に関するアンケートにご協力ください。
 3分で終わるアンケートです。



本堂耐震診断、

墓地・境内地整備

現在、役員会での決定を受け、およそ築50年になる本堂の耐震診断を北野建設株式会社に依頼して行っています。

結果については8月頃に報告いただく予定ですが、併せて行いました本堂屋根の状況とアスベストに関する報告が、一足早く届きましたのでお知らせいたします。



【屋根の状態】

年月を経て緑青を吹いた銅板葺の屋根には、金属による茶色い錆が目立つものの雨漏りなどの異常はなく、概

ね問題はないとのことでした。

【アスベストに関して】
 本堂壁面にはアスベストが練り込まれて含まれてはいるものの、剥き出しではないため、問題はな

いとのことでした。

屋根とアスベストに関しては問題はないとのこと、正直ほっとしています。

【墓地・境内地整備】



◇お盆には、境内にある井戸・水道が混雑するため、お盆までに本堂下の水道を改修設置して水場を設ける予定です。

◇秋以降、本堂北・西側(左の写真上半分)部分を中心に墓地通路の整備を行う予定です。その後、段階的に鐘楼側の墓地通路についても整備を実施していく予定です。



声を寄せてください

仏法の相続、先祖を大切にする気持ち、合掌の心の依り所として、よりお参りしやすいお寺をめざして、創立100周年に向けて、さらにその後に向けて、今何ができるかを模索しています。

上記はその一環です。お寺の中にいると見えない、気づかないことが多々あると思いますので、ご門徒の皆さんから「こうしたらどう?」などの声や要望を寄せていただけましたらうれしいのです。その声が形になればと思います。

ねこ【猫】



猫好きな方もいらつしやることでしよう。そこで、猫の生態について詳しい方がいらつしやるなら、ぜひ教えてください。

最近しばらく、猫が境内(墓地)で思う存分、自由勝手ままにお過ごしのように、後始末に追われる状況です。縄張りであったり、通り道であったりするのでしよう。猫にはお行儀良くしていただきたいのです。何か良い方法を伝授ください。

ちよつとひとこと

最近、喉のここままで出かかっていながら、出てこない言葉や名前がよくあります。また、やらねばと思つて動いたとき、別のことが気になつてそれを済ませたら、最初の目的を忘れてることがあります。皆さんはいかがですか。

気になつて「認知症による物忘れ」と「老化による物忘れ」の違いを調べてみて少し安心しました。

<老化による物忘れ>

- ・体験の一部を忘れる。
- ・忘れたことを自覚している。
- ・何を食べたか忘れる。
- ・約束をうっかり忘れる。
- ・間違いを指摘しても、作り話しはせず謝る。
- ・捜し物は努力して見つけようとする。

<認知症による物忘れ>

- ・体験そのものを忘れる。
- ・忘れたことがわからない。
- ・食べたことを忘れる。
- ・約束したこと自体を忘れる。
- ・間違いを指摘すると、辻褃を合わせた変な作り話をする。
- ・捜し物は誰かに取られたと思う。



本当の宗教とご利益

今年もプロ野球がはじまりました。私がひいきにする広島東洋カープの成績がどうもさえません。数年前、リーグ3連覇を果たしたチームでありながら、なかなか勝てないのです。野球が苦手になったんじゃないかと思えるくらいです。困ったものです。

ところで、二〇一三年、カープがはじめてクライマックスシリーズ(リーグ上位3チームでの決定戦? Aクラス入り)に勝ち進んだときのことです。ある人がこんなことを言いました。「やっと毎年優勝祈願に参拝している〇〇神社の効果が出了」というのです。

みなさんも似たようなことがあったら、同じような考えでしようか。

振り返りますと、カープは毎年5月の鯉のぼりの頃までは調子がよいと言われますが、その年は始めから終わりまで3位、4位を行ったり来たりでした。イライラするなかで、私にはなぜあの

選手がこのタイミングで出てくるのか疑問だった二人がいました。案の定、チャンスダメにして、ピッチをつくる二人だったのです。出さなければ勝てるかもしれないのと思った頃、その二人が怪我をして試合に出られなくなったのです。替わって出てきたのがハワイ出身のキラという選手で、見事な働きをして結果は3位、Aクラス入りを果たしてクライマックスシリーズに臨んだのでした。

あ

る人の発言に戻りますと、カープ3位の要因は、あの二人の怪我によるものが「大」と私には思われますので、二人が怪我をしたことが、あの神社の成果(ご利益?)ということになるのです。一部が得して、一部が損をする道理が本当の宗教と言えるでしょう。

親

鸞聖人のご和讃に、現世利益和讃という詩が十五首あります。

そのなかに、



山家の伝教大師は

国土人民をあはれみて

七難消滅の誦文には

南無阿弥陀仏をとなふべし

と。かつて承元の法難という厳しい宗教弾圧を行った比叡山の開祖である伝教大師(最澄)でさえ、南無阿弥陀仏の名号を否定していいではないかと受けとめたとき、かつての法難に対する親鸞聖人の姿勢を伺うことができました。それは、間違いや誤りに向き合う姿勢こそが、世の中を良くしていくことであり、つまり、現世利益と味わうところなのです。

現

実にしっかりと向き合えるみ教えであり、それをなんとか

乗り越える人生に恵まれるのが、浄土真宗なのです。カープに再び優勝してもらうためには不断の努力が必要ですが、他のチームの選手も同様にやっている現実があるのです。その上で決められたルールの上での勝負ですから、スポーツ観戦は楽しいでしょう。

別院本堂でのお葬儀

かつては家の仏間での葬儀が多かったのですが、昨今は葬儀会館での葬儀が主流になるなか、先日、2件のお葬儀が本堂で営まれました。

お寺の本堂でのお葬儀は、家の仏間より広く、元々が宗教施設です。それほど手間もかからず、必要なだけがそろった落ち着いた雰囲気があり、その上での安心感がなによりだと思います。また、私たち僧侶からすると、折々にご参拝いただく「皆さんのお寺」にお迎えできることが、とても有り難く思えるところです。

ただ、葬儀のことだけは、あらかじめ予定を立てることができませんので、縁に触れ折に触れ、お気軽にお手継ぎのお寺に具体的詳細についてご相談いただき、納得できるお葬儀を営んでいただきたいと思います。

